

6.3. 生物調査

① 魚介類調査

調査結果概要 対策工施工前と比較して、確認種数及び優占種に大きな変化はみられなかった。

調査内容

採捕調査：魚介類の捕獲確認調査、全11地区で夏季に実施
定置網、投網、タモ網、金魚網で採捕

調査結果

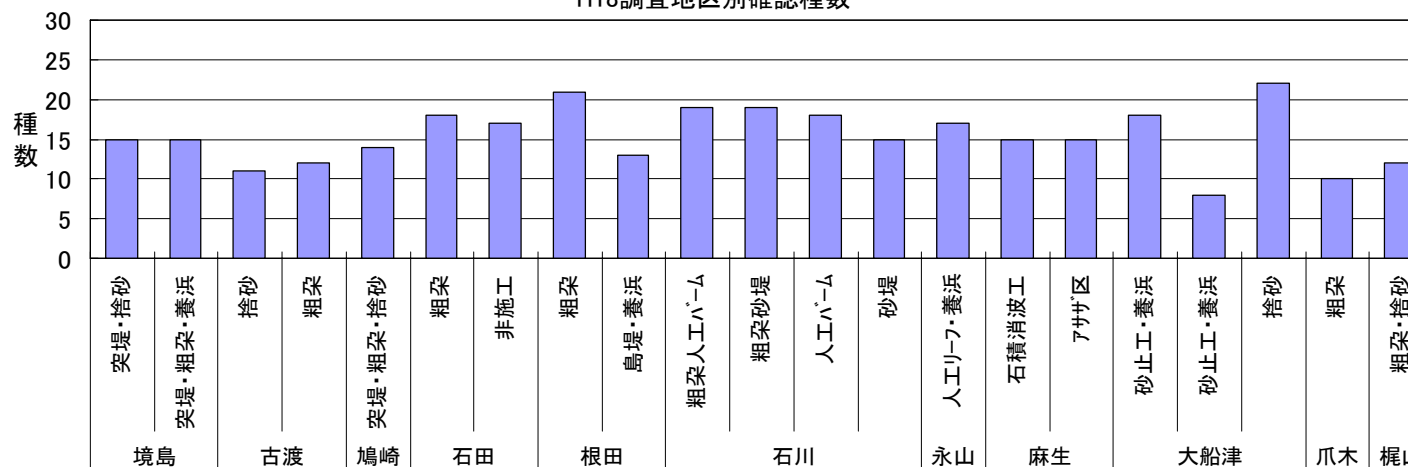
平成18年度は、調査地区全体で6目12科33種の魚類を確認し、対策工施工前と比較して大きな変化はみられなかった。対策工施工前と同様、モツゴ、ヌマチチブ、ブルーギル、タイリクバラタナゴ、ワカサギ、ウキゴリが上位優占種となった。確認種数に施工タイプによる明瞭な傾向はみられなかった。対策工施工以降、増加する地区や減少する地区等にばらつきがみられた。

確認種一覧

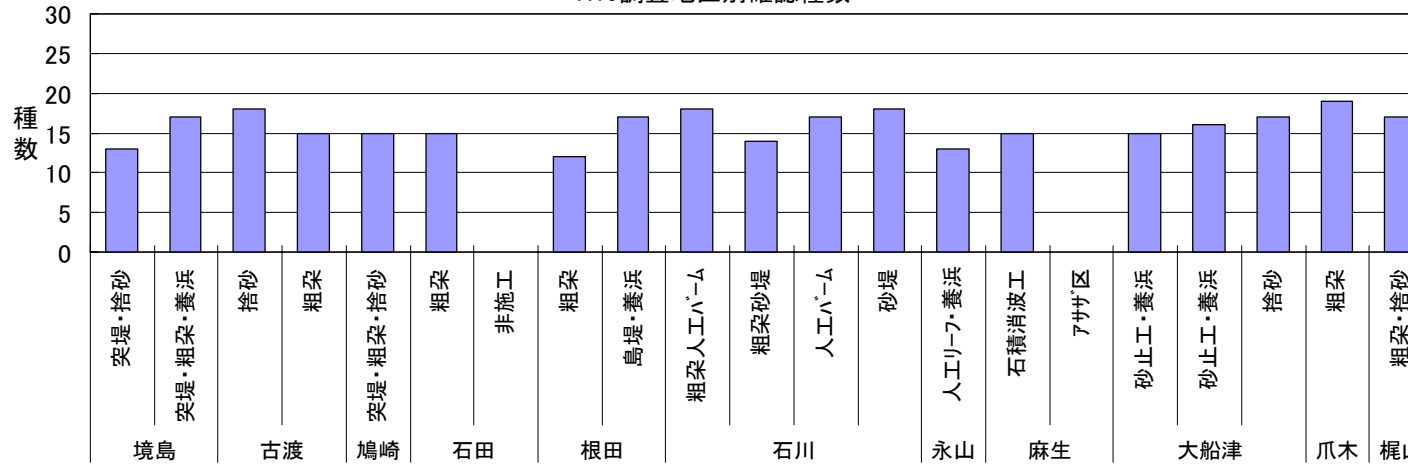
No.	目名	科名	種名	H13	H15	H16	H17	H18
1	ウナギ	ウナギ	ウナギ	1			1	
2	コイ	コイ	コイ	19	24	122	24	18
3			ゲンゴロウブナ	4	34	39	6	14
4			ギンブナ	70	62	111	56	92
5			キンブナ	4	3			
			フナ属	46	40	58	150	92
6			ヤリタナゴ	1				
7			カネヒラ	4	53	109	11	21
8			タナゴ	17	44	19		4
9			アカヒレタビラ	6	8	430	15	5
10			オオタナゴ		2	31	83	131
			タナゴ属	59	168	300	285	39
11			タイリクバラタナゴ	476	888	16150	5019	1745
			タナゴ亜科	497	244	35	338	
12			ハクレン					8
13			ワタカ	5		6	8	3
14			ハス	24	8	15	15	21
15			オイカワ		17	13	2	24
16			アオウオ	1				
17			マルタ	4				
18			ウグイ					1
			ウグイ属		1		1	
19			モツゴ	2857	818	2227	1847	2177
20			ビワヒガイ	39	28	70	16	14
21			タモロコ	11	3	11	1	71
22			カマツカ	2		1		
23			ニゴイ	87	26	9	15	36
24			スゴモロコ属	3		16	3	
			コイ科		21		2	2
25			ドジョウ	4	14	27	25	55
26	ナマズ	アメリカナマズ	アメリカナマズ	42		178	222	28
27	サケ	キュウリウオ	ワカサギ	209	256	676	2869	728
28		アユ	アユ	8		13		
29		シラウオ	シラウオ	1	1	2	14	7
30	カダヤシ	カダヤシ	カダヤシ			1		
31	ダツ	メダカ	メダカ	7	39	131	120	34
32		サヨリ	クルマサヨリ	197	135	842	876	278
33	トゲウオ	トゲウオ	イトヨ属			1		
34	タウナギ	タウナギ	タウナギ			4	1	3
35	スズキ	スズキ	スズキ	1				
36		サンフィッシュ	ブルーギル	19040	695	14202	6586	1888
37			オオクチバス	48	5	20	81	87
38	ボラ	ボラ	ボラ	51	609	228	53	111
39	ハゼ	ウキゴリ	ウキゴリ	1489	1594	958	1821	727
40			ジュズカケハゼ	114	31	16	22	3
			ウキゴリ属		11			
41			アシシロハゼ	91	489	564	192	129
42			トウヨシノボリ	47	176	7		69
			ヨシノボリ属	52	45	355	26	91
43			ヌマチチブ	5119	4493	15045	22958	2095
			ハゼ科				16	
44		タイワンドジョウ	カムルチー			17	9	6
			種数合計	6目13科36種	4目9科29種	8目15科36種	7目13科33種	6目12科33種
			個体数合計	30757	11094	53059	43789	10857

対策工施工

H18調査地区別確認種数



H15調査地区別確認種数



H13調査地区別確認種数

